

バングラデシュ経済ニュース (2016年12月)

(為替レート 1タカ=1.4506円)

マクロ経済 産業動向	<p>(1) 【2日 Daily Star 紙】 アジア太平洋経済社会委員会 (UNESCAP) は、「Asia-Pacific Trade and Investment Report 2016」を発表。この中で、2010年から2015年にバングラデシュの輸出量は14%増加し、アジア太平洋地域の平均7.5%を大幅に上回った。これは安価な労働力と先進国の一般特惠関税が、特に縫製産業の輸出を後押しした為。</p> <p>(2) 【2日 Daily Star 紙】 昨今のタカ安ドル高の為替相場が、輸出と海外送金に弾みをつけるとの見方が広まっている。11月1日に1ドル=78.65タカだった為替レートは、12月1日には79.62タカまで下落。市中銀行関係者は「ドル高は輸出と海外送金の助けとなる」との見方を示した他、ロンドンの調査会社は「これでバングラデシュ中央銀行の外貨準備高は増加するだろう」と述べた。</p> <p>(3) 【5日 Financial Express 紙】 陶磁器産業が苦境に喘いでいる。バングラデシュの陶磁器企業は58社登録されているが、現在操業しているのは僅か20社のみである。これはガスの供給不足により新規企業が操業出来ない他、アメリカの一般特惠関税が一時停止になったことにより、輸出が下落した為である。</p> <p>(4) 【6日 Daily Star 紙】 今年度第一四半期 (2016年7月～9月) の国際収支は、海外送金額の減少および輸入額の増加から5億ドルの赤字となり、4年ぶりに赤字に転落した。また同期間の貿易赤字も、前年同期の倍となる23.7億ドルに達した。</p> <p>(5) 【8日 Daily Star 紙】 冬季野菜の生産量が増加しているにもかかわらず、仲買人の搾取により生産者および消費者の双方に、生産量増加による恩恵が行き渡っていない。Department of Agriculture Extension (DAE) の統計によれば、今年の冬季野菜の収穫量は前年比3～10%増加しているものの、卸売価格と小売り価格の間には50～180%の差異が存在している由。</p> <p>(6) 【9日 Daily Star 紙】 バングラデシュでは2010年から2013年間に合計99日間の政治的ストライキが発生し、これにより運輸費用は69%押し上げられた。これはBangladesh Institute of Development Studies (BIDS) が発表した報告書「How Do Exports Cope with Violence? Evidence from Political Strikes in Bangladesh」の中で明らかにされた。</p> <p>(7) 【11日 Daily Star 紙】 2016年8月末時点のインターネット利用者は6,225万人に達し、こ</p>
---------------	---

	<p>の内5,836万人が携帯電話からのアクセスである。ワイヤレス・ブロードバンド・サービスを提供する大手3社 (Banglalon 社、Qubee 社、O11o 社) の加入者数は2012年11月の46.7万人から現在は10.4万人に減少している。</p> <p>(8) 【16日 Daily Star 紙】 「WhatsApp」「Viber」「Skype」等の無料通話アプリの普及により、国際電話の使用は下落傾向にある。昨年度の国際通話の総時間数は278.3億時間で前年度比16.85%下落した。情報省次官は「海外出稼ぎ労働に出ているバングラデシュ人は、本国の家族と連絡をとるのに、このような無料アプリを使用している」と述べた。</p> <p>(9) 【21日 Daily Star 紙】 サトウキビの耕作面積が減少している。2015/16年度は24.2万ヘクタールで1990/91年度から半減した。ある農民は「政府がサトウキビを高く買い取ってくれば耕作面積を増やす。また高収量品種の導入も重要な課題だ」と述べた。</p> <p>(10) 【19日 Daily Star 紙】 バングラデシュ政府は、情報通信政策にサイバーセキュリティの強化を盛り込む方針を固めた。Halim 国務大臣 (情報通信政策担当) は、「サイバーセキュリティの強化に迅速に対応する」と述べた。情報通信政策は1998年に策定され、現在、改訂作業が進められている。</p> <p>(11) 【20日 Financial Express 紙】 建築物への鉄鋼の使用は、鉄鋼の輸入関税が高いことから、現在でも低い水準に留まっている。バングラデシュ商工会議所連合会 (Federation of Bangladesh Chambers of Commerce and Industry : FBCCI) の会長は、「世界では主要な建物には鉄鋼が活用されており、この傾向はバングラデシュでも広まりつつある」と述べた。</p> <p>(12) 【27日 Daily Star 紙】 商務省 (Ministry of Commerce) は、紅茶産業の振興策の素案を取り纏めた。同案 (事業規模9億7,600万タカ) では2016年から2030年のロードマップが示されており、紅茶の耕作面積の拡大、加工機材の普及などを通じて、同産業で3万人の新規雇用の創出を目指している。</p> <p>(13) 【28日 Daily Star 紙】 タイ国際航空は、2017年1月1日よりバンコク - ダッカ間の夜行便を新規に就航させる。週4日 (月、水、金、日)、ダッカ - バンコク間を一日一往復する。タイ国際航空の関係者は「夜行便の就航によりバンコクでトランジットする顧客の利便性は向上する」と述べた他、タイ大使館関係者は「最近では日に1,000人近いバングラデシュ人がビザの申請をしている」と述べた。</p>
--	---

<p>財政 税制</p>	<p>(1) 【5日 Daily Star 紙】 バングラデシュ政府は、小売店における付加価値税の補足を目的に、10,000 台の電子レジスター (Electric Cash Register) を調達予定。歳入庁が予算 2 億タカの下、今年度中の購入を目指している。</p> <p>(2) 【13日 Daily Star 紙】 今年度当初 4 か月間 (2016 年 7 月～10 月) の税収は、前年同期比 18% 増の 4,987 億タカに達した。民間シンクタンクは「好調な税収の背景は輸入額の増加、政治的安定、国際市場におけるコモディティー価格の安定である」と指摘した。</p> <p>(3) 【21日 Daily Star 紙】 今年度当初 5 か月間 (2016 年 7 月～11 月) の開発予算の執行率は、前年同期比 2% 増の 19.13% (執行額 : 2,359.4 億タカ) となった。開発予算の執行率は 2012/13 年度 (当初 5 か月間は 25%) から下落を続けているが、今年度も低い水準に留まっている。</p>
<p>金融・物価・ 為替</p>	<p>(1) 【11日 Daily Star 紙】 米国の調査会社 (InterMedia 社) は、2015 年のバングラデシュにおける金融サービスへのアクセス人口割合は、前年度より 8% 増加し 43% に達したとする報告書を発表した。人口の 19% は正規金融機関のサービスにアクセスしている他、24% はノンバンクの金融サービスにアクセスしている。</p> <p>(2) 【18日 Daily Star 紙】 Bangladesh Institute of Bank Management が実施した調査は、銀行による情報通信技術への投資は、銀行業務の効率性を向上させるだけでなく、収益も改善させる効果があることが明らかにした。銀行の情報通信への投資 1 タカは、14.24 タカの収益を発生させることが可能であり、同調査に従事した Alam 准教授は「銀行には情報通信への投資により収益を改善できる余地が、まだまだ多く存在する」と述べた。</p>
<p>投資</p>	<p>(1) 【7日 Financial Express 紙】 9 日、米国のハンバーガーチェーン店「Burger King」のバングラデシュ 1 号店が開店する。Tiffin Box Limited 社がフランチャイズ権を取得。同社は「今年中にダッカ市内に 2 店舗を展開する予定。ダッカの QSR (Quick Service Restaurant) 市場は急速に広がっている」と述べた。</p>
<p>貿易</p>	<p>(1) 【5日 Daily Star 紙】 日本およびイタリアはダッカ襲撃テロ事件の犠牲者を出したが、2016 年 7 月から 10 月の両国向け縫製品輸出額からは、事件の影響は見られない。即ち、同期間のイタリア向け輸出額は 3 億 7,830 万ドルで前年同期比 6.43% 増加した他、日本向けも同 7% 増の 2 億 3,058 万ドルに達した。業界関係者は「両国だけでなく他国のバイヤーも戻りつつ</p>

	<p>ある」と述べた。</p> <p>(2) 【7日 Daily Star 紙】 2016年11月の輸出額は前年同月比5.46%増の28.9億ドルに達した他、今年度当初5か月間(2016年7月～11月)の輸出総額も前年同期比6.30%増の136.9億ドルとなった。輸出の約80%を占める縫製産業の関係者は「最近のタカ安ドル高傾向から今後も輸出増加が見込まれる」と述べた。</p> <p>(3) 【9日 Daily Star 紙】 今年度当初4か月間(2016年7月～10月)の輸入総額は、前年同期比14.75%増の151.4億ドルに達した。中央銀行関係者は「これは産業機械(Capital Machinery)の輸入が83%増加したことが影響しており、今後もインフラ・プロジェクト向けの産業機械の輸入は続くと思われる」と述べた。</p> <p>(4) 【18日 Daily Star 紙】 バングラデシュの民間シンクタンクは、もしバングラデシュが、このまま後発開発途上国を卒業し、先進国の一般特惠関税が適用除外となると輸出額は6.5%から7%程度下落するとの試算を発表した。同シンクタンクは「製品および市場の多角化は急務」と強調した。</p> <p>(5) 【25日 Daily Star 紙】 Global Enabling Trade Indexでバングラデシュは昨年より3位順位を落とし136か国中123位となった。Global Enabling Trade Indexは、その国の貿易拡大の能力を示したもので、南アジアではブータン(92位)を筆頭に、インド(102位)、ネパール(108位)の順となっている。</p>
<p>雇用問題 海外出稼ぎ 社会保障</p>	<p>(1) 【8日 Daily Star 紙】 バングラデシュでは2021年までに400万人の熟練労働者を育成する必要がある。Bangladesh Institute of Development Studies(BIDS)が、7日に実施したセミナーで明らかにした。この中で特に食品加工産業で熟練労働者が最も不足しており、次いで縫製産業、建設業、医療保健、情報通信、軽工業などの産業でも熟練労働者の育成が急務だと強調した。</p>
<p>対日関係 日本企業</p>	<p>(1) 【5日 Daily Star 紙】 Muhith財務大臣は、本日、日本訪問に向け出発する。5日間の滞在で同大臣は、麻生財務大臣や北岡JICA理事長など政府高官と会談し、この中でダッカ襲撃テロ事件を受け、バングラデシュ政府が実施している安全措置について説明する予定。</p> <p>(2) 【28日 Daily Star 紙】 JICAは、2016年7月のダッカ襲撃テロ事件以来、一時中断していたプロジェクトの実施を再開した。これは、バングラデシュ政府がプロ</p>

	<p>ジェクト実施地における安全対策を強化したことが背景。バングラデシュ政府財務省は「我々はこれらの取り組みを理解して貰えるよう日本側と協議を重ねてきた」と述べた。</p>
社会	<p>(1) 【1日 Daily Star 紙】 11月30日、国連は過去数週間でおよそ10,000人のロヒンギャ族がミャンマーからバングラデシュに流入したと述べた。バングラデシュ政府は、コックスバザール近郊の難民キャンプには33,000名が難民登録されているものの、その付近には30万人が非合法に居住していると見ている。</p> <p>(2) 【31日 Daily Star 紙】 2016年7月1日に発生したダッカ襲撃テロ事件は、バングラデシュ政府及び治安当局にとって、テロ対策に目を向ける「目覚まし時計(Wake-up call)」となった。専門家は、過激派は新たなテロに向けた戦略を構築していると考えられ、脅威は依然として存在すると警笛を鳴らす。更に、テロには武力による対応だけでは十分でなく、様々な施策による包括的な対応が必要と強調。</p>

(丁)